## ▌推進体制

### DMOを中心に、地域が一丸となって取り組む観光まちづくり

**【具体的な連携内容】**

- ○**観光･物産事業者／観光･物産関連事業者**（宿泊業）：宿泊施設の整備・提供／インバウンド対応／お客様へのおもてなし 等
  （飲食業）：地域の食の提供／インバウンド・ムスリム対応／お客様へのおもてなし 等
- ○**交通事業者／交通関係事業者**：二次交通（バス、タクシー）の利便性・サービス向上／インバウンド対応／お客様へのおもてなし／レンタカー、カーシェアリング、レンタサイクル等との連携 等
- ○**農林水産業者**：体験プログラム等提供／6次産業化商品造成／民泊への取組み 等
- ○**市民／市民組織**：観光まちづくりへの理解／ボランティアガイド・通訳ガイドへの参加／お客様へのおもてなし 等
- ○**教育機関**：学会・スポーツ大会等の誘致／フィールドワーク等調査／学生参加／多言語情報発信 等
- ○**いわき市**：人的・財政的支援／観光関連施設や案内板、駐車場等のインフラ整備／各種事業支援／庁内連携 等
- ○**いわき商工会議所／商工会／その他関係機関**：地域名産品の造成／産業観光への協力／キャッシュレス化・免税店登録の推進 等

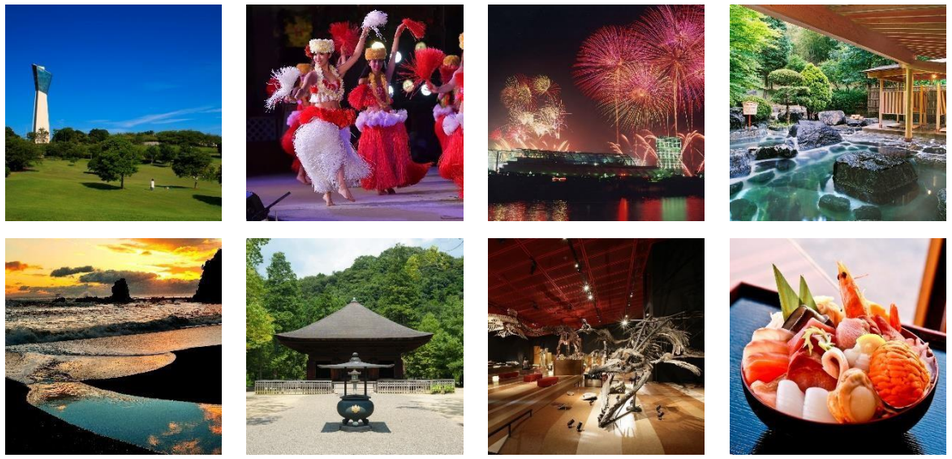

【事務局】〒972-8321　福島県いわき市常磐湯本町向田 3-1（いわき市石炭・化石館ほるる内）
一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー
TEL 0246-44-6545 / FAX 0246-44-6546　いわき市観光サイト https://kankou-iwaki.or.jp


# いわき市観光まちづくりビジョン

## 観光の力で、いわきを豊かに―。

～DMOを中心に、地域が一丸となって取り組む観光まちづくり～

# 【概要版】



2019 年 5 月改定

一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー

フラガールが生まれた街
IWAKI
Fukushima

観光の力で、いわきを豊かに―。　～DMOを中心に、地域が一丸となって取り組む観光まちづくり～

# いわき市観光まちづくりビジョン【概要版】

## 観光まちづくりビジョン改定の背景

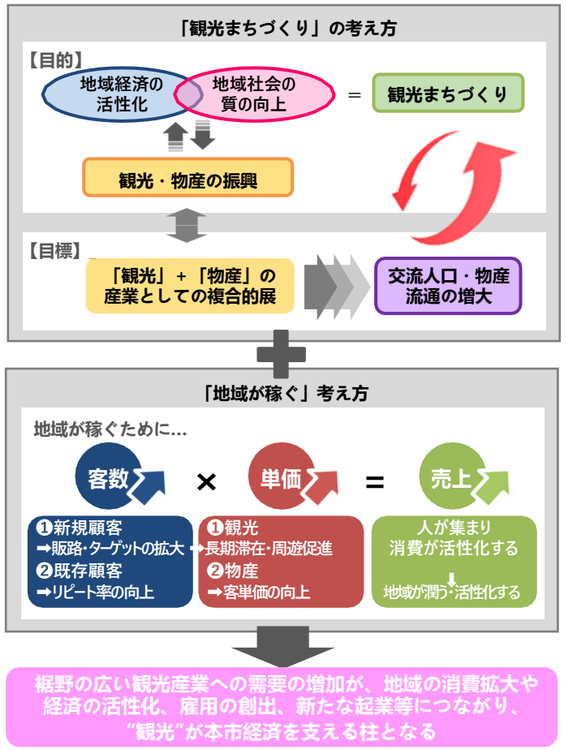
◆「いわき市観光まちづくりビジョン」は、本市の地域経済を牽引する戦略産業のひとつ である“観光産業”において、観光関連事業者及び行政機関、関係団体等が理念を共有し一丸となって推進する「観光と物産の振興に係る全市的な計画」として、いわき観光まちづ くりビューローが中心となり、平成２２年に策定されたものです。

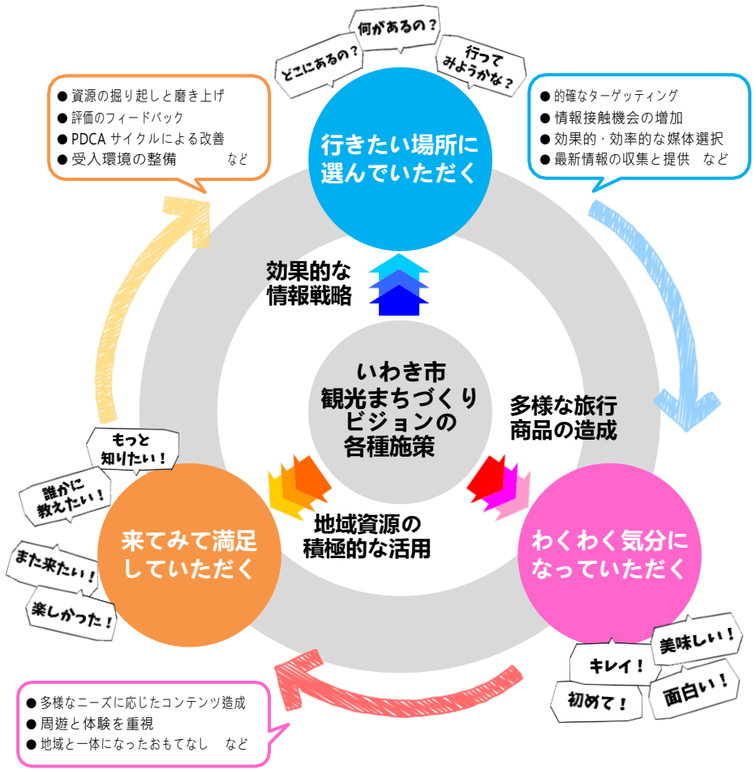
◆本市は、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の発生以降、観光施設の復旧や風　評の払拭など、新たな喫緊の課題への対応を最優先事項として観光産業の復興に向けた取組みを進めてきましたが、この間、我が国の観光を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢　化に伴う国内観光需要の減少をはじめ、外国人観光客の増加や観光ニーズの多様化、日本　版ＤＭＯを中心とした観光地経営への転換など、大きく変わりつつあります。

◆今後の本市の観光振興においては、震災後の状況や、これまでの取組みを踏まえつつ、これら環境の変化に的確に対応した施策の展開が求められることから、今般「いわき市観光まちづくりビジョン」を全面的に改定し、各種環境の変化を踏まえた今後の本市の観光振興施策の指針として、また、観光による地域の活力向上を図るための多様な関係者が共有する明確なビジョンとして位置づけ、「観光まちづくり」の実現のために効果的に推進する各種戦略を定めます。

※ 計画期間 ： ２０１９年度～２０２３年度（概ね５年間）

## これからの観光まちづくり




## 戦略の体系（基本方針及び3つの基本戦略と15のアクションプラン）

観光と物産の振興による地域経済の活性化と観光産業発展の好循環

| 基本方針 | 基本戦略 | アクションプラン |
|---|---|---|
| **い**　国内外のお客様に「いわき」を知ってもらい、来てもらうには、その魅力を多くの方に伝え、興味を持っていただくことが必要であるため、的確なマーケティングにより、効果的な情報戦略に取り組みます。<br>行きたい場所に選んでいただくために | 基本戦略Ⅰ<br>効果的な情報戦略の推進 | 1 デジタルマーケティングの推進・強化<br>2 地域と連携した観光・物産情報の収集と発信<br>3 シティセールス・プロモーションの推進<br>4 多言語による情報発信<br>5 多様な媒体を活用した情報発信 |
| **わ**　国内外の多様なニーズに対応するため、関係団体と連携しフラをはじめ「いわきならでは」の広域的に周遊・滞在できるコンテンツや体験プログラムを造成し、お客様も市民も楽しめるような多様な旅行商品の造成に取り組みます。<br>わくわく気分になっていただくために | 基本戦略Ⅱ<br>多様な旅行商品の造成による観光誘客の推進 | 1「フラ」をテーマとした事業の推進<br>2 テーマ別観光の推進<br>3 広域連携ルートの構築<br>4 教育旅行・合宿や MICE の誘致<br>5 訪日外国人旅行者の誘客 |
| **き**　いわき湯本温泉郷や国宝白水阿弥陀堂のほか、いわき自慢の食や豊富な地域資源を活用し、おもてなしの心をもってお客様にリピーターとなっていただけるよう、地域資源の積極的な活用に取り組みます。<br>来てみて満足していただくために | 基本戦略Ⅲ<br>地域資源の積極的な活用による観光振興の推進 | 1 自然資源の活用<br>2 地場産品の活用<br>3 歴史・文化・芸術の活用<br>4 地域の祭り・イベントの活用<br>5 受入環境の整備 |

## 数値目標（KPIの設定）

【旅行消費額】
2018年　25,187円を
2023年　**36,430円**へ UP

【延べ宿泊者数】
2018年　724,704人を
2023年　**900,000人**へ UP

【外国人延べ宿泊者数】
2018年　4,310人を
2023年　**9,000人**へ UP

【来訪者満足度】
2018年　92.9％を
2023年　**95.0％**へ UP

【リピーター率】
2018年　70.8％を
2023年　**80.0％**へ UP

【WEBサイトアクセスPV数】
2018年　2,201,433件を
2023年　**4,300,000件**へ UP

【観光交流人口】
2018年　8,004,534人を
2023年　**9,000,000人**へ UP

2019年5月改定　一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー / 福島県いわき市